

政策(基本方針)Ⅳ：みんな元気で笑顔あふれるまちづくり

22

施策名

生涯スポーツの推進

目的と施策の方針

対象 ◆市民

意図

◆生涯にわたって目標・目的を持ち、スポーツを行なっている

| 成果指標 | 単位 |
|--|----|
| A：目標・目的を持って実際にスポーツを行なっている人の割合〔市民アンケート〕 | % |

| 成果指標 | 平成21年度 現状値 | 数値区分 | 平成23年度 | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 |
|------|---------------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|
| A | 32.8% | 成り行き値 | 32.8% | 32.8% | 32.8% | 32.8% | 32.8% |
| | | 目標値 | 34.0% | 36.0% | 38.0% | 40.0% | 42.0% |

◆成果指標の目標設定とその根拠

A：成り行き値は、経済状況が不安定なことを考慮して、平成21年度の実績値である32.8%で今後も推移すると考え設定しました。

目標値は、高齢化が進み、余暇を利用してレクリエーションスポーツに親しむ人が増えると予想されることに加えて、手軽に取り組めるニュースポーツの周知と普及促進を進め、広くスポーツに取り組める環境を整えること、各種団体の周知を図り、団体参加を促すこと、人材を発掘し、人材の活用を進めること、既存の施設を検証し、多くの人の利活用ができるような仕組みと有効な施設利用を図ることで、平成22年度の第1期の学習とスポーツを含めた目標値である42.0%を、平成27年度の目標値として設定しました。

◆施策の現状と今後の状況変化

- 高齢化がさらに進むことで、自分の体力にあったスポーツに親しんだり、参加する人が増えると予想されます。
- 施設の老朽化が進み、維持管理費の増加が予想されます。
- 地域では、レクリエーションスポーツの実施が増えていますが、今後もこの傾向は続く予想されますので、種目ごとに必要な器具や用具の備えが必要になってきます。

◆施策の課題

- 平成24年度に熊本県民体育祭が菊池地域を会場として開催されますが、本市での実施体制や施設の整備が必要になります。
- 各種施設、設備の老朽化に伴う、計画的な施設、設備の改修。
- 地域では、レクリエーションスポーツの実施が増えているが、ニーズに合ったレクリエーションスポーツや学習の情報提供や支援に努めます。

◆施策の方針

豊かな心をもつ人を育み、生きがいを見つけられる生涯スポーツの推進を図るため次の方針を設定します。

- ①市民が自ら生涯スポーツに取り組みやすい環境づくりに努めます。
- ②豊かな心をもつ人を育み、生きがいを見つけられる生涯スポーツの推進を図ります。

協働によるまちづくりの具体策（市民と行政の役割分担）

ア) 住民（事業所、地域、団体）の役割

- ①市民は、市主催または地域主催等の様々な事業に参加します。
- ②市民は、体力向上（競技力向上）のため、目標を持って取り組みます。
- ③地域は、レクリエーションやスポーツ活動を開催します。
- ④団体と事業所は、スポーツイベントや各種スポーツ教室等を開催します。

イ) 行政の役割（市がやるべきこと）

- ①各種スポーツ大会の開催と支援。
- ②各種ニュースポーツの紹介など、生涯スポーツのきっかけづくりとしての事業の実施。
- ③各種施設の計画的な整備と管理・運営。
- ④競技別リーダーの育成。



施策の展開（基本事業）

70 基本事業名：スポーツの啓発

対象

◆取り組んでいない市民

意図

◆施設やスポーツの内容を知ることができる

| 成果指標 | | 単位 |
|--|--|----|
| A：スポーツに取り組んでいないが今後取り組んでみたいと思う市民の割合 [市民アンケート] | | % |

| 成果指標 | 平成21年度 現状値 | 数値区分 | 平成23年度 | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 |
|------|---------------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|
| A | 62.0% | 成り行き値 | 62.3% | 62.3% | 62.3% | 62.3% | 62.3% |
| | | 目標値 | 63.3% | 64.0% | 64.7% | 65.3% | 66.0% |

◆成果指標の目標設定とその根拠

A：成り行き値では、高齢化がさらに進むことや（余暇を利用してスポーツに親しんだり、ボランティア活動に参加する人が増えると予想される）、経済状況が不安定なことを考慮して、平成18年度から平成21年度までの実績値の平均で推移すると考え、平成27年度値を、62.3%に設定しました。

目標値については、スポーツに取り組んでいない市民を対象に、手軽に取り組めるニュースポーツの周知と普及促進を進め、広くスポーツに取り組める環境を整えることで、スポーツに取り組んでいないが今後取り組んでみたいと思う市民の割合を、平成27年度までに、66.0%（2/3程度）まで上げることを目標として設定しました。

施策の展開（基本事業）

71 基本事業名：スポーツへの参加機会の提供

対象

◆市民

意図

◆スポーツに参加する機会がある

| 成果指標 | | 単位 |
|-----------------------------------|--|----|
| A：スポーツに親しむ機会があると思う市民の割合 [市民アンケート] | | % |

| 成果指標 | 平成21年度 現状値 | 数値区分 | 平成23年度 | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 |
|------|---------------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|
| A | 45.2% | 成り行き値 | 45.3% | 45.3% | 45.3% | 45.3% | 45.3% |
| | | 目標値 | 46.8% | 47.6% | 48.4% | 49.2% | 50.0% |

◆成果指標の目標設定とその根拠

A：成り行き値は、過去3カ年の実績の平均値で推移すると推測し、45.3%としました。

目標値については、手軽に取り組めるニュースポーツの周知と普及促進を進め、広くスポーツに取り組める環境を整えることで、少なくとも半数の市民がスポーツに親しむ機会があると思うようになることを目標として、平成27年度の目標値を50.0%と設定しました。

施策の展開（基本事業）

72 基本事業名：スポーツ団体の育成

対象 ◆取り組んでいる市民

意図 ◆スポーツに取り組む仲間ができる
◆スポーツの指導者になる

| 成果指標 | 単 位 |
|----------------------------------|-----|
| A：スポーツ団体に参加している人の割合〔市民アンケート〕 | % |
| B：スポーツの指導者として指導している人の割合〔市民アンケート〕 | % |

| 成果指標 | 平成21年度 現状値 | 数値区分 | 平成23年度 | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 |
|------|---------------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|
| A | 42.2% | 成り行き値 | 42.2% | 42.2% | 42.2% | 42.2% | 42.2% |
| | | 目 標 値 | 44.0% | 45.0% | 46.0% | 47.0% | 48.0% |
| B | 3.8% | 成り行き値 | 3.8% | 3.8% | 3.8% | 3.8% | 3.8% |
| | | 目 標 値 | 4.0% | 4.2% | 4.4% | 4.6% | 4.8% |

◆成果指標の目標設定とその根拠

A：成り行き値については、平成21年度の実績値の数値で推移するとして、42.2%に設定しました。
目標値については、施策の成果指標である「目標・目的を持って実際にスポーツを行なっている人の割合」の伸び率を参考に、市民やスポーツ体験教室参加者を通じて総合型地域スポーツクラブ、各種スポーツの自主サークルのPRを強化し、団体への参加を促すことにより、平成27年度の目標値を48.0%に設定しました。

B：成り行き値については、平成21年度の実績値の数値で推移するとして、3.8%に設定しました。
目標値については、施策の成果指標である「目標・目的を持って実際にスポーツを行なっている人の割合」の伸び率を参考に、人材を発掘し、今後計画されている人財バンクへの登録により、人材の活用を進めることで、平成27年度の目標値を4.8%に設定しました。

※成果指標Bでは、人材を財産と考え、あえて「人財バンク」と表現しています。



施策の展開（基本事業）

73 基本事業名：スポーツ施設（環境）の整備

対象 ◆市民

意図 ◆活動する場がある

| 成果指標 | | 単位 |
|-------------------------------------|--|----|
| A：スポーツに親しむ施設が整っていると思う市民の割合〔市民アンケート〕 | | % |

| 成果指標 | 平成21年度 現状値 | 数値区分 | 平成23年度 | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 |
|------|---------------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|
| A | 57.3% | 成り行き値 | 57.3% | 57.3% | 57.3% | 57.3% | 57.3% |
| | | 目標値 | 58.0% | 58.5% | 59.0% | 59.5% | 60.0% |

◆成果指標の目標設定とその根拠

A：成り行き値は、このままの状態を維持するとすれば、平成21年度の実績値の数値で推移すると考え、57.3%に設定しました。

目標値は、老朽化した施設の改修に取り組むことや、種目に応じた施設の周知をさらに進めること、既存のグラウンドが市民の要望に合ったものであるか検証し、多くの人の利活用ができるような仕組みを作り、有効な施設利用を図ることで、60.0%を平成27年度の目標値として設定しました。

